

上越南地区商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）
イ 対象企業 同地区内商工会員
ウ 調査企業数 60 事業所（うち小規模事業者数 58 事業所）
エ 回答企業数 60 事業所
（回答率 100.0%）

(2) 調査対象期間

令和4年 7月～令和4年 9月
（調査時点：令和4年10月1日）

(3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	17	28.3%	17	28.3%
2 製造業	9	15.0%	9	15.0%
3 卸売業	4	6.7%	4	6.7%
4 小売業	15	25.0%	15	25.0%
5 飲食・宿泊業	7	11.7%	7	11.7%
6 サービス業その他	8	13.3%	8	13.3%
合計	60	100.0%	60	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	58	2	0	60
構成比	96.7%	3.3%	0.0%	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

今回の調査では前期同期比・前期比・今後の見通しと全調査期間で売上DIは改善基調にあるものの、前期比で採算性及び景況判断のDI値が減少している。要因としては原油・原材料の高騰や、電力料金等の値上げ、円安による物価の上昇と言える。特にサービス業・小売業では、需要喚起策による売上回復を期待する声がある一方で、物価上昇による消費マインドの低下を危惧する事業者が増加している。また、全業種において今後も原油・原材料価格の高騰や円安の急伸によるコスト増加が見込まれる中、感染再拡大による行動制限などへの懸念が強まり、事業者の先行きは厳しい見方となっている。

【売上高】

売上DI値については、前年同期比（R3.7月～9月）で+11.6ポイント増加し、前期比（R4.4月～6月）でも+5.0ポイント増加となった。さらに、今後の見通し（R4.10月～12月）においても+23.3ポイントと大幅に増加となり、全てにおいて前回調査より好転となった。また、緩やかな上向き傾向で推移すると見込んでいる。

前年同期比

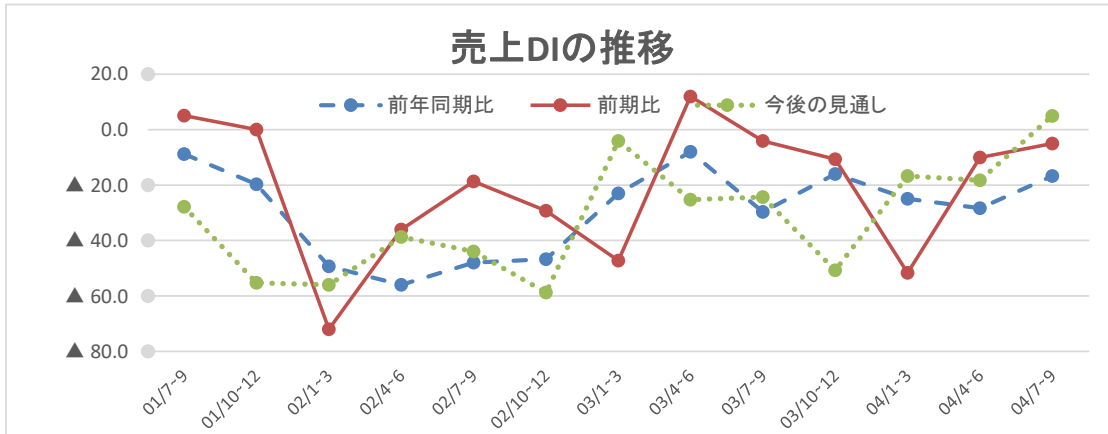
増加	不変	減少
14	22	24

前期比

増加	不変	減少
16	25	19

今後の見通し

増加	不変	減少
15	33	12



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9
前年同期比	▲ 8.9	▲ 19.7	▲ 49.3	▲ 56.0	▲ 48.0	▲ 46.7	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 29.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 28.3	▲ 16.7
前期比	5.1	0.0	▲ 72.0	▲ 36.0	▲ 18.7	▲ 29.3	▲ 47.3	12.0	▲ 4.1	▲ 10.7	▲ 51.7	▲ 10.0	▲ 5.0
今後の見通し	▲ 27.8	▲ 55.3	▲ 56.0	▲ 38.7	▲ 44.0	▲ 58.7	▲ 4.1	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 50.7	▲ 16.7	▲ 18.3	5.0

【採算】

採算値については、前年同期比（R3.7月～9月）で+15.0ポイントであったが、前期比（R4.4月～6月）では△11.4ポイント減少となった。しかし、今後の見通し（R4.10月～12月）では+20.0ポイント増加となった。売上DIと同じく全業種で、今後の見通しで不変との回答が多く見られた。

前年同期比

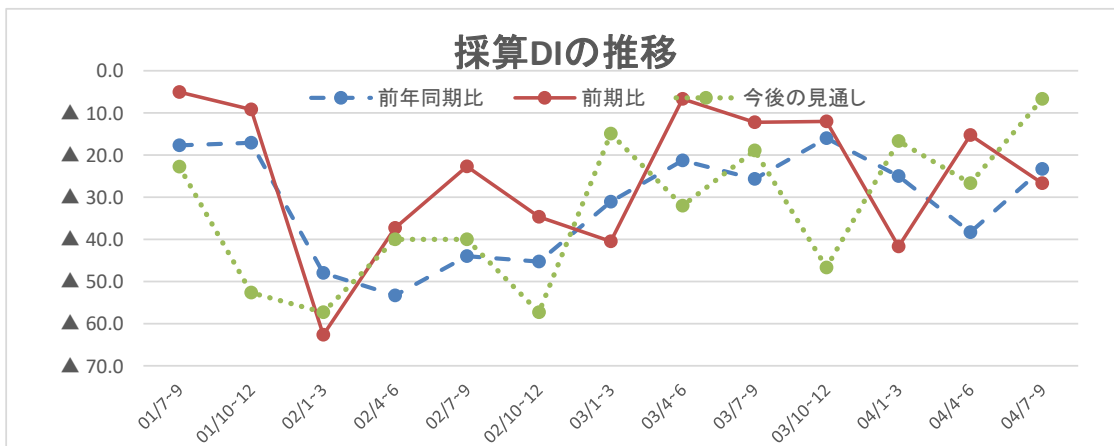
好転	不変	悪化
8	30	22

前期比

好転	不変	悪化
7	30	23

今後の見通し

好転	不変	悪化
10	36	14



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9
前年同期比	▲ 17.7	▲ 17.1	▲ 48.0	▲ 53.3	▲ 44.0	▲ 45.3	▲ 31.1	▲ 21.3	▲ 25.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 38.3	▲ 23.3
前期比	▲ 5.1	▲ 9.2	▲ 62.7	▲ 37.3	▲ 22.7	▲ 34.7	▲ 40.5	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 12.0	▲ 41.7	▲ 15.3	▲ 26.7
今後の見通し	▲ 22.8	▲ 52.6	▲ 57.3	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 57.3	▲ 14.9	▲ 32.0	▲ 18.9	▲ 46.7	▲ 16.7	▲ 26.7	▲ 6.7

【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R3.7月～9月）で+13.4ポイントの増加であり、前期比（R4.4月～6月）では±0ポイント、今後の見通し（R4.10月～12月）も+6.6ポイントと増加している。今後の見通しでは調査企業の7割が上昇との回答であった。

前年同期比

上昇	不変	低下
49	11	0

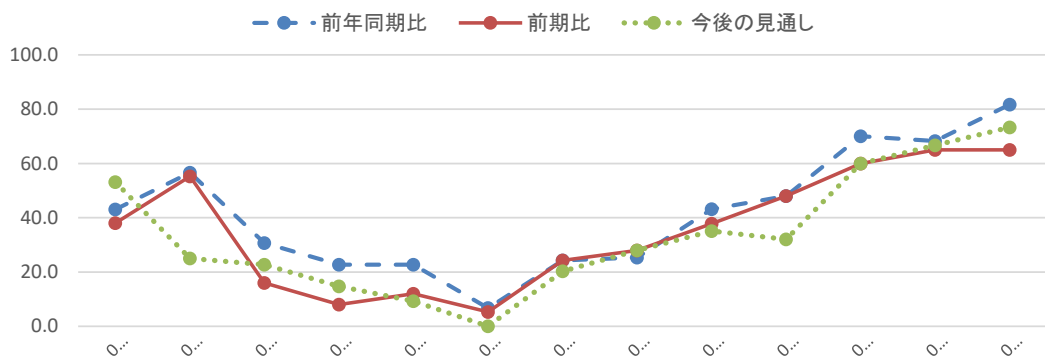
前期比

上昇	不変	低下
39	21	0

今後の見通し

上昇	不変	低下
44	16	0

仕入単価DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9
前年同期比	43.0	56.6	30.7	22.7	22.7	6.7	24.3	25.3	43.2	48.0	70.0	68.3	81.7
前期比	38.0	55.3	16.0	8.0	12.0	5.3	24.3	28.0	37.8	48.0	60.0	65.0	65.0
今後の見通し	53.2	25.0	22.7	14.7	9.3	0.0	20.3	28.0	35.1	32.0	60.0	66.7	73.3

【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R3.7月～9月）で+5.0ポイント増加したが、前期比（R4.4月～6月）は△1.6ポイント減少となった。しかし、今後の見通し（R4.10月～12月）では+8.4ポイントの増加となった。なお、今回調査で全業種の全てが調査期間で不変と回答した事業所が目立った。

前年同期比

上昇	不変	低下
14	40	6

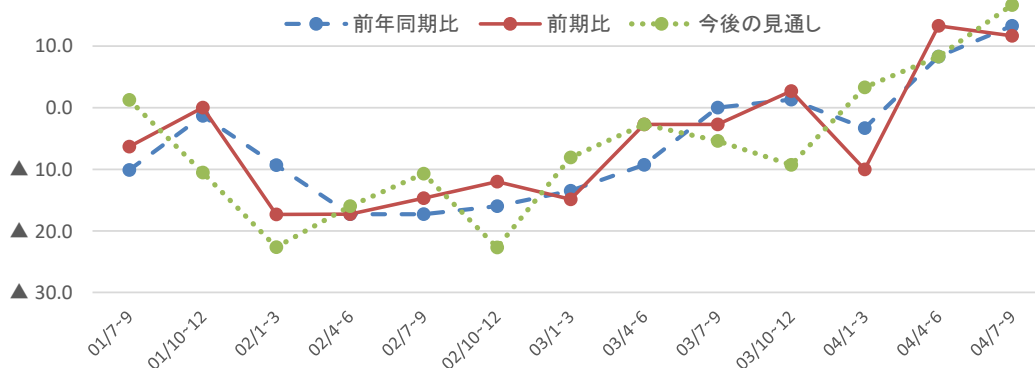
前期比

上昇	不変	低下
13	41	6

今後の見通し

上昇	不変	低下
15	40	5

販売（客）単価DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9
前年同期比	▲ 10.1	▲ 1.3	▲ 9.3	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 16.0	▲ 13.5	▲ 9.3	0.0	1.3	▲ 3.3	8.3	13.3
前期比	▲ 6.3	0.0	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 14.9	▲ 2.7	▲ 2.7	2.7	▲ 10.0	13.3	11.7
今後の見通し	1.3	▲ 10.5	▲ 22.7	▲ 16.0	▲ 10.7	▲ 22.7	▲ 8.1	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 9.3	3.3	8.3	16.7

【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R3.7月～9月）で+11.6ポイントであり、前期比（R4.4月～6月）では+3.4ポイント増加となった。さらに、今後の見通し（R4.10月～12月）においても+10.0ポイントと全てにおいて改善された。しかし、昨年同時期の調査とほぼ変わらない推移を示し、殆どの調査企業が不変との回答であった。

前年同期比

好転	不変	悪化
5	43	12

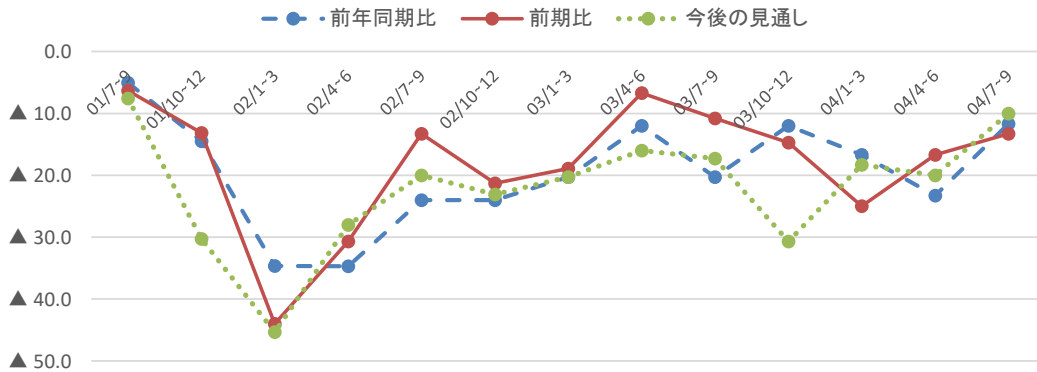
前期比

好転	不変	悪化
3	46	11

今後の見通し

好転	不変	悪化
4	46	10

資金繰りDIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9
前年同期比	▲ 5.1	▲ 14.5	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 16.7	▲ 23.3	▲ 11.7
前期比	▲ 6.3	▲ 13.2	▲ 44.0	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 21.3	▲ 18.9	▲ 6.7	▲ 10.8	▲ 14.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 13.3
今後の見通し	▲ 7.6	▲ 30.3	▲ 45.3	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 17.3	▲ 30.7	▲ 18.3	▲ 20.0	▲ 10.0

【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R3.7月～9月）で+1.6ポイント増加したが、前期比（R4.4月～6月）は△5.0ポイントとなり、さらに今後の見通し（R4.10月～12月）でも△3.4ポイントと減少している。また、9割の事業所が今回の調査でも不変と回答している。

前年同期比

増加	不変	減少
2	55	3

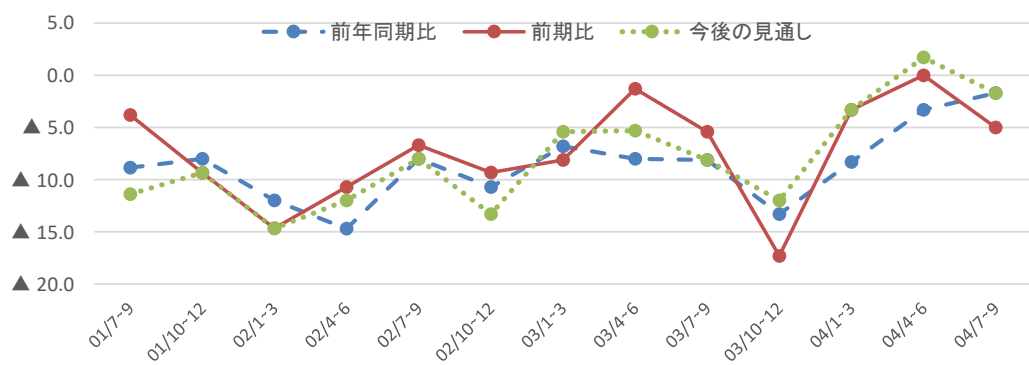
前期比

増加	不変	減少
1	55	4

今後の見通し

増加	不変	減少
1	57	2

雇用動向DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9
前年同期比	▲ 8.9	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 14.7	▲ 8.0	▲ 10.7	▲ 6.8	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 3.3	▲ 1.7
前期比	▲ 3.8	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 10.7	▲ 6.7	▲ 9.3	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 17.3	▲ 3.3	0.0	▲ 5.0
今後の見通し	▲ 11.4	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 13.3	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 12.0	▲ 3.3	1.7	▲ 1.7

【景況判断】

景況判断については、前年同期比（R3.7月～9月）で△3.3ポイントであり、前期比（R4.4月～6月）では△8.4ポイントと共に減少となった。しかし、今後の見通し（R4.10月～12月）では+16.6ポイント増加し改善傾向にある結果となった。また、今後好転すると回答した事業所数も増えてきている。

前年同期比

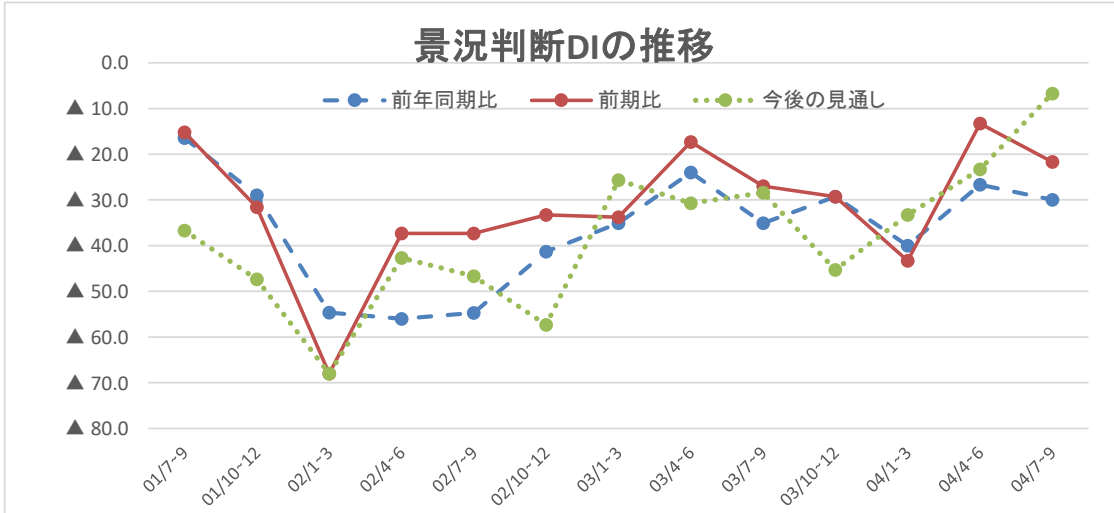
好転	不変	悪化
6	30	24

前期比

好転	不変	悪化
5	37	18

今後の見通し

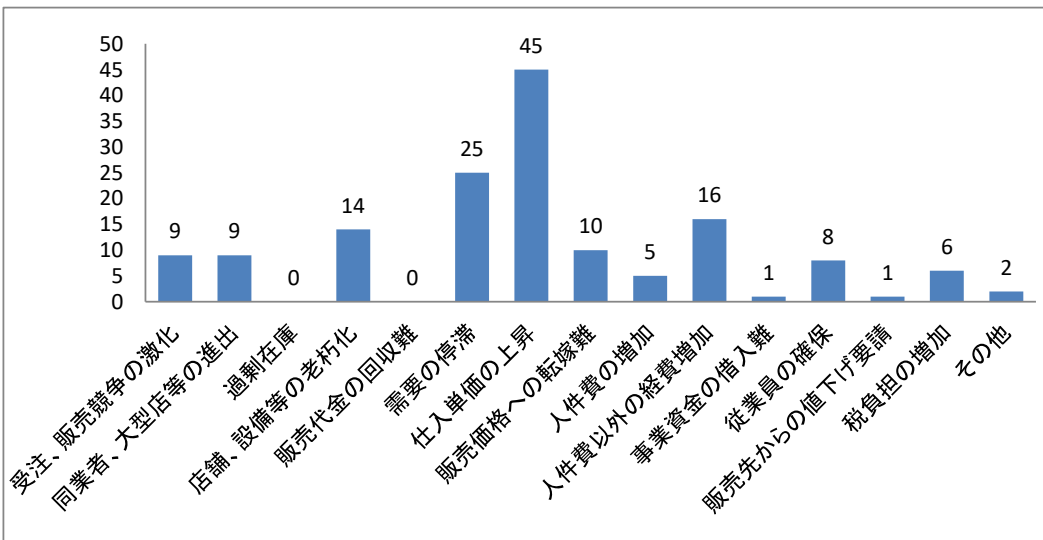
好転	不変	悪化
12	32	16



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9
前年同期比	▲ 16.5	▲ 28.9	▲ 54.7	▲ 56.0	▲ 54.7	▲ 41.3	▲ 35.1	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 29.3	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 30.0
前期比	▲ 15.2	▲ 31.6	▲ 68.0	▲ 37.3	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 33.8	▲ 17.3	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 43.3	▲ 13.3	▲ 21.7
今後の見通し	▲ 36.7	▲ 47.4	▲ 68.0	▲ 42.7	▲ 46.7	▲ 57.3	▲ 25.7	▲ 30.7	▲ 28.4	▲ 45.3	▲ 33.3	▲ 23.3	▲ 6.7

【経営上の問題点】

経営上の問題点について、今回の調査対象期間である7月～9月調査も前回調査と同じく「仕入単価の上昇」が最も多く、次いで「需要の停滞」「人件費以外の経費増加」が問題点として挙げられていた。「仕入単価の上昇」においては、全体の75%の事業所が回答している。さらに、建設業においては「従業員の確保」を問題点として挙げた事業所が多く特徴的であった。また、現在の経営環境下において貴社が感じておられることとして、販売価格への転嫁困難や人口減少、顧客の高齢化など不安視する意見等が挙げられている。



3. 産業別景況概要

(1) 建設業

建設業においては、売上高が前期比より好転したと3割の事業所が回答したが、前年同期比・今後の見通しでは8割の事業所が不変もしくは悪化するとの回答。さらに採算性については9割弱が悪化と回答し、経営状況は厳しいと見受けられる。経営上の問題点に関しては、材木価格等の高騰による「仕入単価の上昇」との回答が多く、次に「従業員の確保」となっている。これについては従業員の高齢化や後継者不足からと思われる。景況判断に関しては、来期の景況について調査事業者の3割が悪化するのではないかと不安視する回答が目立つ。

(2) 製造業

製造業の売上については、調査した事業所の3割が前期比から今後の見通しで好転との回答であったが、採算性については反対に3割の事業所が悪化するとの回答だった。また、仕入単価については前年同期比・今後の見通しで全ての事業所が上昇との回答であった。経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」を挙げる事業所が多く見られた。

(3) 卸・小売業

卸売業においては売上・採算性ともに半数の事業所が前期比と今後の見通しで好転との回答であった。また、小売業においては前年同期比で5割の事業所で売上が減少したとの回答だが、今後の見通しでは3割の事業所が好転との回答となった。また、現在発行されているプレミアム付商品券での売上増加を期待しているとの意見も多く挙げられた。経営上の問題点としては卸売業・小売業ともに「仕入単価の上昇」を挙げていた事業所が多かった。さらに、卸売業においては「販売価格への転嫁難」、小売業においては「人件費以外の経費増加」を問題点としている事業所が目立った。

(4) サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

サービス業においては、売上及び採算性は大方の事業所が前年同期比から今後の見通しまで不変との回答が目立った。飲食店においては行動制限のない夏期となり需要が延びてきていたが、材料費と光熱費の高騰が著しく、利益の確保が難しい状況である。これから始まるGo To Eat キャンペーンや忘年会需要に期待している。さらに店側も引き続き感染対策を徹底しながらお客様を迎え入れる体制は整っている。また、飲食・宿泊業で最も多い経営上の問題点に挙げられていたのは「仕入価格の上昇」であり、サービス業においても「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」が多く見られた。

※ 今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

【 建設業 】

- ・従業員の確保。求人はだしているが来てくれない。
- ・新たに新事業を始めたので、無理のない様に進めていきたい。
- ・ベトナム人実習生がやってくるので、期待しています。経費がかかる為、冬期間の仕事が重要になってくるので販路の開拓が必要だと思っています。

【 製造業 】

- ・原材料・光熱費・その他の価格変動が特に見通せない。販売戦略が特に重要だと思います。

【 小売業 】

- ・販路開拓。
- ・仕入単価の上昇を販売価格に転嫁しづらい。
- ・価格転嫁。
- ・地域の高齢化。
- ・人口の減少。

【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】

- ・箸が全国放送で流れたり、無印良品で高調子なのでブームをおこしたい。はし作り体験など面白い企画をしていきたい。
- ・光熱費、食料品等全てが値上げされ困っている。自店の商品は値上げせずやって行きたい。
- ・人口の減少及び顧客の高齢化